

平成 25 年度 調 査 料 金 表

平成 25 年 5 月 20 日 (2013/5/20) より全調査カテゴリー一適用

目次

	目次	2
第1章	探偵調査の費用の考察	
	1、 調査料金について	
	2、 平均相場の理由	
	(1)費用と実務上の期間	
	(2)費用と設備	3
	3、 著しく安い調査料金設定の業者には注意が必要	
	4、 著しく高い調査料金設定の業者には注意が必要	4～5
第2章	T. I. U. 総合探偵社の調査料金の成り立ち	
	第1、調査料金の考察	
	1、フェアな料金帯を維持するために	
	第2、調査のタイミングなど	
	1、浮気調査のタイミングについて	
	2、浮気調査の費用と基準	
	(1)収入や貯蓄と連動するか？	
	(2)何を基準として適正料金と言えるのか？	6～8
第3章	浮気調査 / 素行調査 料金表	9～12
第4章	機動調査 料金表	13
第5章	所在調査 料金表	14上段
第6章	行方調査 料金表	14下段
第7章	盗聴器盗撮機器発見調査 料金表	15

第1章 探偵調査の費用の考察

第1、調査料金について

1、調査料金相場

社団法人東京都調査業協会によれば、調査料金の平均帯は、「1時間あたり2名15,000円～20,000円」と公表されています。これは、実態に基づきアンケートなどで割り出された平均的な料金帯です。

2、平均相場の理由

(1) 費用と実務上の期間

探偵調査の料金は、一見、高いように感じるかもしれませんが、調査においては、調査の実務業務のみならず、報告書の作成時間や画像や映像の編集作業も含まれていますから、仮に実際、8時間の調査を依頼した場合でも、探偵業者は「実務調査8時間」「調査現地までの移動往復時間2時間」「調査報告書作成時間2時間」「画像編集、映像編集4時間」「下見等準備調査期間2時間、それに伴う往復2時間」というように、依頼した期間の2～3倍の時間を要することになります。

また、ほとんどの探偵社は、相談を無料にしていますが、相談を受けている期間は当然ながら無給というわけにはいきません。

このように一見、短時間の調査であっても、調査開始から終了、そして、報告という流れの中には、その完成のために要する時間は、それ相応に掛かっているのです。

(2) 費用と設備

体一つでは調査はできません。例えば、行動調査の場合、証拠として残すために、必ず「カメラ類」が必要になります。

調査現場では、一眼レフの他にもビデオカメラやそれに伴うレンズ、長時間調査に耐えうるように追加バッテリーや記録メディア、調査スタッフ間の連携に必要な通信機器類、録音機や高感度マイク、撮影光量を確保するための、不可視光タイプの赤外線ライトなど様々な調査機材を使用します。同様に、調査現場に簡易的な拠点や追跡に必要な調査車両（普通車タイプやオートバイ、ロードレーサー）なども必要になってきます。

そして、技術は常に発展しますし、機械にはメンテナンスや寿命がありますから、安定した調査を維持するためには、こうした機材に関する費用も一部、調査料金に反映しなければなりません。

3、著しく安い調査料金設定の業者には注意が必要

前述のように、安定した調査、品質を維持するための費用は必ずかかります。このような費用を、捻出するには、一部を調査費用に按分する必要があります。

あまりに安い設定の場合でよくあるケースは下記の通りです。

- ・事務所がない個人事業者
- ・車両代金や調査報告書作成料金が異常に高い
- ・副業開業者でプロ意識が欠けている
- ・調査員が調査経験のない素人アルバイト
- ・実際調査は1名で行っていても、3~6名で行っているように見せ掛ける
- ・調査経費が異常に高い
- ・解約ができない
- ・実務調査を行わない

など、一部詐欺行為と言っても過言ではない被害ケースがあります。

4、著しく高い調査料金設定の業者には注意が必要

調査の見積もりが電話ではできない業者やメールで回答してこない業者、調査料金表や料金の具体的な目安を表示していない業者は、一様に高額な費用を請求する調査業者と判断して間違いありません。

このような場合、下記のようなケースが報告されています。

- ・カウンセラーと名乗る中年の女性探偵に囲まれて、契約しないと帰れないようなシチュエーションになった。
- ・高いので払えないと断ったのに、ローンを契約させられた。
- ・1か月500万円、もしも浮気が無かったら、200万円返すと言われた。後で考えれば、調査をしなくても業者は300万円丸儲け。
- ・どこに頼んでも、結局はポッタくられるだけだと脅された
- ・カウンセリング代も含まれると言われたが、担当のカウンセラーはいつも不在。
- ・1か月の調査という契約であったが、実際は1週間しか調査をしていなかった。
- ・証拠が撮れたのに解約できないと言われて、無駄な調査を実施させられた。
- ・他の業者に見積もりを頼んだら、半額以下であったので、調査実施の前に解約を申し込んだが、応じてくれなかった。
- ・低料金と謳っている

探偵調査業に関する消費者被害は年間1000件を下りません。このほとんどが、このような異常に高い調査料金設定の業者によるもので、解約ができなかったり、消費者が誤認するような契約方法であると報告されています。

このからくりは、異常に高い広告費が調査料金に上乗せされているからです。ネットユーザーであ

ればよく目にする検索結果と連動して表示される広告費は特に探偵調査業では高騰しています。

「探偵」や「浮気調査」と検索窓に打ち込み、検索ボタンを押すと、無数のホームページが検索結果として表示されますが、PCモニターでいうと、上枠、下枠、右枠で若干色の違う検索表示が広告表示枠です。上枠の3つのサイトが、その検索キーワードに対し、高額の入札をしたサイトで、その順位は右枠へ続きます。

この検索キーワード連動型広告は、1クリックに対し高額の入札をしたサイトが上位表示される仕組みになっています。探偵業について、人気のキーワードは「探偵」と「浮気調査」ですが、この1位表示のための入札金額は1時期、1クリック12,000円になっていました。

これが月間で数万件クリックされるわけですから、広告費は相当な金額になってしまいます。

このような広告費は、調査契約が成約したら支払われるものではなく、クリックベースで費用が加算されるものですから、莫大な費用が必要になります。この莫大な費用は、結局唯一の収益となる調査費用に上乗せしなければなりません。

こうなると、消費者には耳触りの良い言葉を並びたて、芸能人等を使って印象に残るようにブランディングを行い、実際に相談にきた消費者には、できる限り高い調査料金を取るというシステムにしなければ、利益は出ないでしょう。当然、消費者被害になると予見されていても、解約などには応じるわけにはいかないでしょう。

このように、調査に関する見積もりを比較検討する場合、調査費用としての数字のみに捉われてはなりません。

第2章 T. I. U. 総合探偵社の調査料金の成り立ち

第1、調査料金の考察

1、フェアな料金帯を維持するために

T. I. U. 総合探偵社では、四半期に一度の割合で、料金についての適正化のための会議を行っています。これは、社会環境の変化や調査機材の開発が進み、いくつかの費用が削減できると判断できたり、過去事例から細分化された費用などを算出し、調査のクオリティを下げず、ユーザーとフェアにサービスと費用面のバランスを考察して検討しています。

第2、調査のタイミングなど

1、浮気調査のタイミングについて

多くのご依頼者様は、ピンポイントで調査を行いたいと考えていますが、ほとんどのご依頼者様が指定した調査日において、空振りする率が高いという現状があります。

また、ご依頼者様のスマートフォンから情報が漏えいしていたり、タブレットやパソコンから情報が漏えいしているケースも散見されます。

とはいえ、探偵業者側で調査日を勝手に設定し、調査をした場合、空振りについて誰が負担するのかという問題がありますので、弊社では勝手に調査日を設定することは致しません。

浮気の証拠収集に、最も効果的なのは、数日間の期間を設定し、弊社担当者のご依頼者様の協議によって、調査実施を決定するプランです。また、連続調査ではなく、毎週金曜日などと決めて定期的な調査を実施した場合、追跡によって浮気の現場を押さえられる率が高くなります。

仮にピンポイントで調査日を決めたいが、行動が読めず、調査日を決定することが難しいという場合は、その方（調査対象者）の行動や浮気相手の性質、環境など様々な要因から、ピンポイント調査は適性がないと判断するのが妥当です。

2、浮気調査の費用と基準

（1）収入や貯蓄と連動するか？

収入と調査費用が見合う場合の主な要因は、いくつかありますが、同居しており夫婦の生計が同じ場合が多いと言えます。

この場合、同居により、一方の配偶者の行動時間が判明しやすく、浮気をする時間帯や日時の特定制がしやすいという特徴があります。

また、収入としての生計が同じですから、浮気デートなどに使う予算に制限があるため、行動範囲の選択肢が狭いという特徴があります。

ただし、このような条件が整っていても、朝帰りや休日出勤が普段から多いと、日時の特定は困難

です。また、営業職などで、日中の勤務時間などが自由に行動できてしまう場合なども、日時の特
定が困難です。

また、浮気相手が財布を握っている場合、資金的な部分で制限がないため、行動範囲が広くなりま
す。

こうした要因から考察すると、収入や貯蓄と調査費用は必ずしも連動しないという結論となります。

（２）何を基準として適正料金と言えるのか？

どこまでの期間や何人の人員を使い、証拠をつかむのか？という純粋な費用を適正な料金と考える
のが妥当でしょう。

この場合、もっとも費用が掛かると考えられるのが人件費です。もし、仮に貴方が探偵だとして、
長く働けば働くほど、給料が安くなるとしたら、どう考えるでしょう。通常、労働に伴う費用は、
規定の時間を超えた部分に関しては、残業代となり、それは基本給などの按分から割増を受けるは
ずです。

しかし、ユーザー側からすれば、多くのサービスを受ける契約をすれば、その分、割引を受けたい
と考えるのが普通でしょう。

企業側は、ボランティアではありませんから、多くの人件費を払ったのに、長期間だから消費者側
には割引をするという状態では、次々に倒産してしまいます。この状況となるのであれば、サービ
スの度合いは低下するのが当然の流れです。

適正料金を考察する場合、どのようなサービスも同様ですが、適度な利益とユーザー側目線を考慮
した費用のバランスが整備されているという料金帯があるということでしょう。

とはいえ、探偵業に関して、そのバランスを消費者側が事前に知ることは困難です。

そこで、活用できるのが、社団法人東京都調査業協会が公開している調査料金の平均料金帯です。
資料によれば、2005年3月時点のアンケートで、「2名1時間15,000円～20,000円未満」とされ
ています。

つまり、1時間1名とする場合、「7,500円～10,000円未満」が妥当な金額となります。

例えば、行動パターンとして、徒歩で自宅から出掛け、電車に乗って待ち合わせの場所に行き、待
ち合わせの場所で浮気相手の車に乗るとします。この場合、その待ち合わせ場所が確定的であれば、
同様に車を待ち合わせ場所に待機させ、追跡に備えればよいでしょうが、その場合は浮気相手を持
定するための情報が必要になります。ほとんどのケースでは、待ち合わせ場所は確定的ではないの
で、自宅からの徒歩追跡に合わせて、徒歩の調査人員が2名必要でしょう。しかし、待ち合わせ場
所で、車に乗り込まれてしまうと、徒歩で追跡するのは不可能です。このような場合は、オートバ
イか普通車を現場近くで巡回させ、徒歩の調査員と連絡を取ってもらい、早期に追跡行動に移行し
てもらえるように人を配備しておく必要があります。このように、ケースによっては、人員を3
名以上、車両などを配備しておかなければ、追跡はできません。

つまり、個々人の行動パターンに合わせて、人員の配備、車両などの配備をする必要があります、それ

によって費用が増減するのです。

このように、製品のように浮気調査〇×円と決めてしまうのは困難です。ですから、無料相談・見積もりによって、詳しい状況を聞き取ってからお見積もりをする仕組みとなっているのです。

第3章 素行調査 浮気調査

1、はじめて調査を依頼する方へ

T. I. U. 総合探偵社に、はじめて調査を依頼する方へ、初回1回に限り使えるお試し料金プランをご用意しています。すでに他社への御依頼をしたという方でもご使用になれますが、前任探偵事務所等が調査失敗をしているケースでは、最適化できませんので、注意が必要です。

初回限定キャンペーン料金（お試し料金プラン）

期間	人員	料金	延長
1日5時間	2名	48,000円	14,700円/30分間
1日10時間	2名	96,000円	14,700円/30分間

初回ご依頼の方、1回のみ使えるキャンペーン料金プランです。

調査人員2名、通常調査機材を使用します。調査報告は、簡易電子報告となります。

<オプション>

普通自動車、オートバイ使用の場合、1日単位10,500円

通常調査報告書発行の場合、1部10,500円

調査中に得られた全画像を編集した画像パックの場合、16GBまで25,000円

※ 簡易電子報告とは・・・

時系列日報、調査により得られた写真数点（ハイライト）をPDFにしてメール添付もしくはファイル交換によって報告する簡易型報告のことです。受け取りには電子メールアドレスが必要です。

2、大まかに調査日が特定できる方へ最適な料金プラン

多くのご依頼者様が、大まかに調査日を特定できるが、確定日を事前に設定できないという状況です。また、設定しても調査実施日の前日や翌日などで、不貞行為（浮気）をしていたというケースが非常に多く発生しています。このような場合は、調査を実施する日を多めに設定するのが、調査成功の秘訣となります。

定額制料金

期間	人員	料金
3日間	2名	378,000円
4日間	2名	498,000円
5日間	2名	630,000円

調査人員2名を配備し、期間内（1日10時間）定額で調査をするプランです。延長の場合は、翌日分からスライドして1時間単位で延長調査をすることが可能です。

調査報告書は、通常調査報告書となりますので、書面発行となります。

<オプション>

普通自動車、オートバイ使用の場合、1日単位 10,500円

調査中に得られた全画像を編集した画像パックの場合、16GB まで 25,000円

3、調査する日を確定できる場合

調査を開始する日時、場所を確実に特定できる場合は、その1日に調査戦力を集中させた料金プランが最適です。

ピンポイント1日

期間	人員	料金	延長
8時間	2名	157,500円	10,500円/30分間
8時間	3名	189,000円	15,750円/30分間

通常調査報告書、現地下見（張り込み場所の選定等）、画像パック、特殊機材使用料金を含んだプランです。確実に浮気等をしている特定日を特定できる方に最適な調査料金プランとなっています。

4、一定期間をパッケージ化

例えば、1週間の内、必ず1日は怪しい日があるが事前に特定できない場合に有効な料金パッケージです。

このプランでは、1日5時間以降は自由に時間を設定できますので、安定した調査を実施することが可能です。

パック料金

期間	人員	料金	延長
50時間パック	2名	787,500円	10,500円/30分間
60時間パック	2名	840,000円	10,500円/30分間

調査人員2名を配備し、調査を実施するプランです。契約期間を超える場合は、再チャージするか時間ごとの延長対応とするかその時点で決定することが可能です。調査報告書は、通常調査報告書となりますので、書面発行となります。

<オプション>

普通自動車、オートバイ使用の場合、1日単位 10,500円

調査中に得られた全画像を編集した画像パックの場合、16GBまで 25,000円

<用語の説明>

・通常調査機材とは

ビデオカメラ、小型カメラ、調査員間通信機器

・専門調査機材とは

デジタル式カメラ、ビデオカメラ、超小型偽装式カメラ、録音機器、バッテリーパック
調査員間通信機器、位置情報システム端末、オンタイム周辺情報システム

・簡易電子報告

時系列日報、調査により得られた写真数点（ハイライト）を PDF にしてメール添付もしくはファイル交換によって報告する簡易型報告

・通常報告

時系列の詳細な行動やそれに関する写真がセットになっている証明力の高い調査報告書です。

<オプション>

下見調査 5時間2名 63,000円

不定期に決めた日程で本人確認などを目的として模擬調査を実施する。

画像パック 25,000円

現状行っている調査報告書素材などでキャプチャした画像全てを SD カードに入れて納品する。

報告書 10,500円

調査報告書を1部追加する。弁護士用や保管用として推奨する。

自動車・バイク 1日10,500円

専属ドライバーパッケージ（普通車） 1日52,500円

特殊機材（小型カメラ系） 25,000円

通信機器（GPS） 設置回収 31,500円

定期監視 1日10,500円

通信型カメラ（ルーターカメラ） 1日31,500円

第4章 機動調査

1、裁判所報告書関連

裁判所からの送達に関して、居留守で受け取らない相手や行方不明となった被告（相手方）に関する送達手続に必要な調査報告書を作成します。

付郵便送達のための調査報告書

期間	人員	料金	別途費用
1日間	1名	45,000円	現地までの実費交通費・証書類印紙代の実費
3日間	1名	126,000円	現地までの実費交通費・証書類印紙代の実費

公示送達のための調査報告書

期間	人員	料金	別途費用
1日間	1名	60,000円	現地までの実費交通費・証書類印紙代の実費
3日間	1名	168,000円	現地までの実費交通費・証書類印紙代の実費

<オプション>

普通自動車 1日単位 10,500円

調査報告書確定日付サービス 1部 5,250円

その他、一点ポイントなどを確認して調査報告書作成をしたいというご要望の調査は、上記に勘案し最適なプランを提案します。

第5章 所在調査

1、勤務先や自宅の割り出しを目的とした調査

所在調査は、特定される調査対象者が確実に確認できる日時と場所をご指定頂き、勤務先や立ち寄り先、自宅住所などを割り出す調査です。

調査の方法により費用が異なります。

期間・条件	人員	着手金	成功報酬	別途費用
尾行による判明	2名	84,000円	84,000円	実費交通費
聞き込みによる判明	2名	73,500円	98,000円	実費交通費

第6章 行方調査

1、失踪人や家出人を捜索し、居所を判明させる調査

家出人や失踪人の現在居所を判明させる調査です。主な調査手法は聞き込みや張り込みと言った調査の他、膨大な資料から特定人の痕跡を追う情報収集調査などを含んでいます。

期間・条件	人員	着手金	成功報酬	別途費用
難易度：低	2名	210,000円	315,000円	実費交通費
難易度：中	2名	315,000円	420,000円	実費交通費
難易度：高	2名	630,000円	840,000円	実費交通費
特殊/海外	2名	980,000円	1,260,000円	実費交通費

2、ポイントだけ調査員のサポートや同行をする調査

調査員サポート（同行派遣）

1日8時間 52,500円 1名

第7章 盗聴器・盗撮機器発見調査

1、仕掛けられた盗聴器や盗撮機器を発見する調査

広域周波数検知や方式別検知が可能なプロ仕様の盗聴機器盗撮機器発見調査です。主な条件は、調査範囲の広さとなります。

条件	人員	調査料金	追加料金	別途費用
一般住居 アパート (~50㎡)	1名	38,000円	追加1㎡ 300円	実費交通費
一般住居 マンション (~50㎡)	1名	45,000円	追加1㎡ 300円	実費交通費
一般住居 一戸建て (~50㎡)	1名	60,000円	追加1㎡ 500円	実費交通費
オフィス (~50㎡)	1名	60,000円	追加1㎡ 1,000円	実費交通費

2、車両に仕掛けられた位置情報機器の検索

車両に設置されたGPS通信機器や録音機材などを検知する調査です。

条件	人員	調査料金	追加料金	別途費用
車両 GPS (バイク・普通車)	1名	45,000円	——	実費交通費
車両 GPS (大型車以上、外国車)	1名	60,000円	——	実費交通費